

会 議 録

会議名	第12回日野市地域公共交通会議	
日時	平成23年6月24日（金）14：00から15：30まで	
会場	日野市役所本庁舎101会議室	
出席者	委員	別紙のとおり
	事務局	都市計画課 香川課長、辻課長補佐、小俣係長、大野主査、谷口主事
	コンサル	セントラルコンサルタント 水澤氏、沼賀氏
議題	<p>議事</p> <p>(1) 平成22年度予算について（協議事項）</p> <p>(2) 平成23年度事業について（協議事項）</p> <p>(3) その他</p>	
公開・非公開の別	公開	
傍聴人の数	0名	
<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ（谷井会長）</p> <p>以前より懸案であった件について、事務局より報告するよう求めがあった。</p> <p>事務局より報告</p> <p>① 豊田駅北口6番乗場での誤乗車について</p> <p>京王電鉄バスの乗務員にヒアリングを行ったところ、路線再編直後は頻発していたが、最近は月に1～2回程度とのこと。今後も車内外アナウンス等も含めて運行事業者と協議する。</p> <p>② 三沢台路線の利用者減について</p> <p>後ほど、会議内で報告する。</p> <p>③ 豊田駅北口の乗り継ぎ用降車バス停の改善について</p> <p>京王電鉄バスと請負者の間では大方調整済み。今後は、道路管理者と協議を行い随時施工する。</p> <p>3. 議事</p> <p>(1) 平成22年度予算について（協議事項）</p> <p>1) 平成22年度第二回補正予算</p> <p>事務局（都市計画課 香川課長）から説明（資料－1）</p>		

2) 平成22年度決算

事務局（都市計画課 香川課長）から説明（資料-2）

監査報告（出納監査委員 中澤氏）

<意見、質問等>

特になし

<議決>

谷井会長

- ・平成22年度予算について異議ないか。
《異議なしの声》
- ・平成22年度予算について承認した。

(2) 平成23年度事業について（協議事項）

事務局（都市計画課 小俣係長、セントラルコンサルタント 沼賀氏）から

説明（資料-3、4、5 別添資料-1、2、3）

<意見、質問等>

藤田委員

従来からワゴンタクシーにも車イスへの対応を要望してきたが、検討の結果としては、利用者の増加に対応するためバリアフリーの適用除外を受けるとのことである。

ただし、事務局でも車イス利用者への配慮も今後の検討課題とされているので、その点について継続して協議していただきたい。

⇒車イス利用者への対応については、今後も継続して協議する。（事務局回答）

窪田委員

ワゴンタクシー実証運行にある「地域や事業者主体の公募制」とは具体的にどういうことか。

⇒現在、残されている交通空白地域は、ミニバス、ワゴンタクシーでは対応できないところが多い。具体的な案は検討中であるが、今後、新たな制度を取り入れていく必要もあると考えている。（事務局回答）

吉田委員

車両の定員については、様々あるので再調査したらどうか。

車両の大型化については、バックアップ車両の対応回数を勘案すると前向きに捉えていただきたい。

また、三沢台路線については、利用者は夕方の便は増えている。

逆に百草から高幡が減っている。百草からの便に変更はあるのか。

窪田委員

便数など変わっていない。原因としては、高齢化や車両の入替えが原因とも考えられる。

⇒ご意見を踏まえて、引き続き調査、検討していく。(事務局回答)

<議決>

谷井会長

- ・平成23年度事業について異議ないか。

《異議なしの声》

- ・平成23年度事業について承認した。

4. その他について

新制度への対応について事務局（都市計画課 小俣係長）から説明（資料-6）

<意見、質問等>

池田（代理）委員

タクシー事業であると、日野市内だけでの問題ではないので東京都での対応も考えられる。詳細について、後日、東京運輸支局に相談してもらいたい。

⇒情報交換を密にしながら対応を検討していく。(事務局回答)

<議決>

谷井会長

- ・その他 新制度への対応について異議はないか。

《異議なしの声》

- ・その他 新制度への対応について承認した。

吉田委員からのご意見

- ・日野市地域公共交通総合連携計画は、当時はタクシーには対応していなかった。路線再編については実績が向上している一方で三沢台路線の利用者減や乗り継ぎ利用者促進などの問題が発生している。連携計画の見直しを検討する時期に来ている。
- ・アンケート調査について、現段階で通勤や買物先を調査する必要はないのではないか。重要なのは、再編を実施して出かけやすくなったのかどうかである。また、自由記述の欄が多くてもよいのでは。
- ・今年4・5月の利用者が減少している一方、OD調査から学生、高齢者以外の女性の利用者が増加している。移動ニーズが変化している可能性もある。震災の影響もあるため、一概には言えないが、今後の動向に注目する必要がある。

- ・新型車両導入によってミニバスの車内が狭くなったのは事実である。
車両の選択肢がないためやむを得ないが、ハードでの対応が困難であれば、ソフト面での対応も検討してはどうか。

谷井会長より

再編によって利用しやすくなったが、三沢台路線の利用者減や豊田駅北口での誤乗車、乗り継ぎ利用の促進などの新たな課題も発生している。

今後、事務局で詳細な調査・検討を実施すること。

(事務局)

アンケート調査の設問については、ご意見を踏まえて再検討する。

また、三沢台路線の利用者減少などの課題については、詳細な調査を継続する。

事業については、平成 23 年度事業計画に基づき随時実施していく。

ミニバス、ワゴンタクシー各分科会については、必要に応じて実施する。

5. 閉会